

S I D R

滋賀県感染症情報

SHIGA Infectious Diseases Report

《週報》

第3巻第32号

第32週(8月4日～8月10日)

発行年月日:平成15年(2003年) 8月 19日

発行:滋賀県立衛生環境センター内

滋賀県感染症情報センター

電話 077-537-3051 FAX 077-534-3936

1) 全数報告の感染症(1類～4類)

感染症類型	疾患名	報告数 (32週)	累積報告数		平成14年報告数	
			滋賀 (32週)	全国 (32週)	滋賀	全国
1類感染症	報告なし	0	0	0	0	0
2類感染症	細菌性赤痢	0	2	258	6	693
	パラチフス	0	0	21	1	33
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	0	7	1189	14	3132
4類感染症	アメーバ赤痢	0	2	309	6	453
	エキノкокクス症	0	0	12	1	9
	オウム病	0	1	33	0	55
	急性ウイルス性肝炎	0	3	491	2	915
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	3	73	2	146
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	38	1	90
	後天性免疫不全症候群	1	6	522	6	888
	ツツガムシ病	0	1	134	0	329
	梅毒	0	1	304	4	561
	破傷風	0	1	40	0	105
レジオネラ症	0	1	79	1	166	
指定感染症	重症急性呼吸器症候群(SARS)	0	0	0	0	0

* 平成14年報告数の全国報告数は、滋賀県で報告された疾患を対象としています。

* 指定感染症:患者が発生した場合に、都道府県知事の判断により、まん延防止のための迅速な対応が可能になります。

2) 定点把握の対象となる4類感染症

疾患名	定点当たり患者数(県・保健所管内別)								前週との比較(定点当たり患者数)
	県	大津	草津	水口	八日市	彦根	長浜	今津	
インフルエンザ	0	0	0	0	0	0	0	0	
咽頭結膜熱	0.69	1.57	1.00	0	0.60	0	0	1.00	
A群溶連菌咽頭炎	0.44	0.57	0.33	0	0.80	0	0	2.00	
感染性胃腸炎	1.81	3.14	5.50	0.75	0	0	0	0	
水痘	0.63	0.71	0.83	0.50	0.40	1.25	0	0.50	
手足口病	0.94	0	1.33	0.25	0.60	3.50	0.50	1.00	
伝染性紅斑	0.25	0	1.00	0.50	0	0	0	0	
突発性発疹	0.56	1.00	1.17	0.25	0	0.50	0.25	0	
百日咳	0.06	0.29	0	0	0	0	0	0	
風疹	0	0	0	0	0	0	0	0	
ヘルパンギーナ	2.66	3.86	2.17	0.25	0.80	1.50	7.00	3.00	
麻疹	0	0	0	0	0	0	0	0	
流行性耳下腺炎	1.00	0.14	1.17	0.25	0	0.50	0.50	9.50	
急性出血性結膜炎	0.14	0	0	0	0	1.00	0	0	
流行性角結膜炎	0.43	0	2.00	1.00	0	0	0	0	
急性脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
無菌性髄膜炎	0.43	0	0	0	0	0	3.00	0	
マイコプラズマ肺炎	0.14	0	0	0	0	0	1.00	0	
クラミジア肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
成人麻疹	0	0	0	0	0	0	0	0	

全国集計などの詳細な集計結果は、国立感染症研究所感染症情報センターのホームページ(<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>)において公表されています。

0 1 2 3 4
定点当たり患者数

3) 今週のトピックス

手足口病、ヘルパンギーナの発生は先週に引き続き減少傾向 流行性耳下腺炎等の発生に地域的な偏り

定点把握の対象となる4類感染症の発生状況を先週と比較すると、感染性胃腸炎、伝染性紅斑、流行性耳下腺炎等の定点当たり患者数が増加しています。水痘、手足口病、ヘルパンギーナ、無菌性髄膜炎等の定点当たり患者数は減少しています。

咽頭結膜熱については、先週に引き続き**大津、草津、今津**保健所管内の定点当たり患者数が多くなっています。

手足口病については、定点当たり患者数は減少傾向を示していますが、**彦根**保健所管内においては3.50と多くなっています。

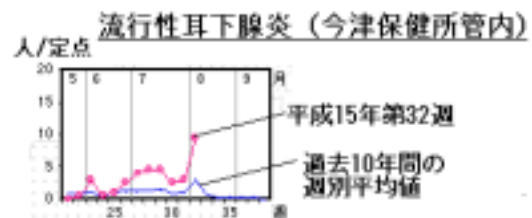
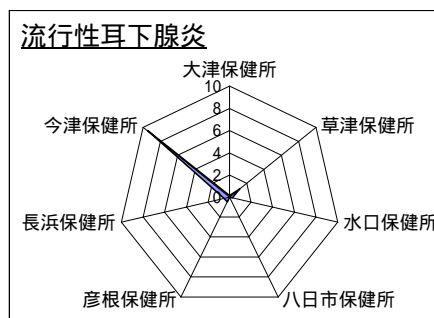
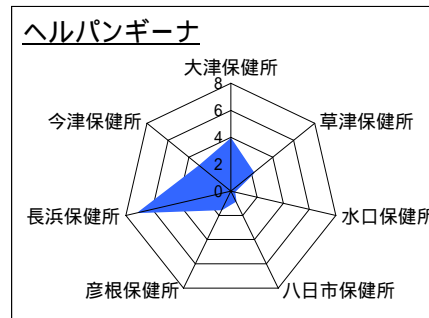
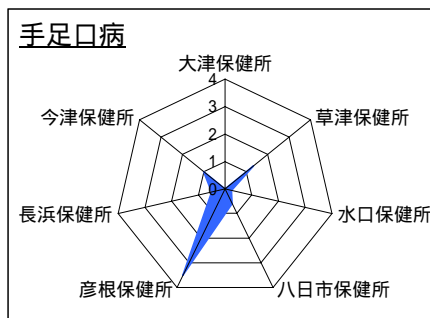
ヘルパンギーナについては、先週と比較すると定点当たり患者数はかなり減少し、昨年の同時期とほぼ同様の定点当たり患者数となっていますが、**長浜**保健所管内においては7.00と多くなっています。

流行性耳下腺炎については、**今津**保健所管内の定点当たり患者数が9.50とかなり多くなっています。

無菌性髄膜炎については、滋賀県の定点当たり患者数は、やや減少傾向となっていますが、奈良県、大阪府では多くなっています。

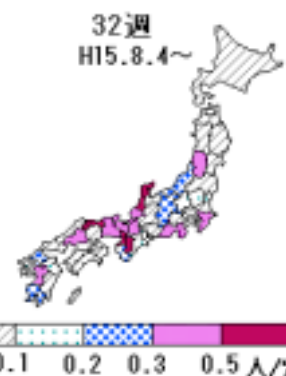
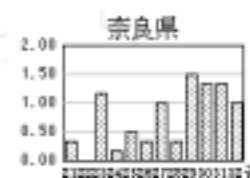
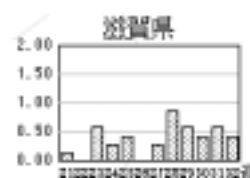
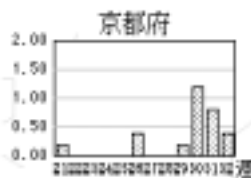
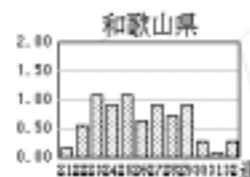
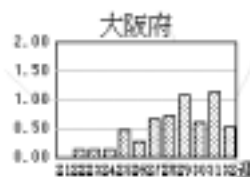
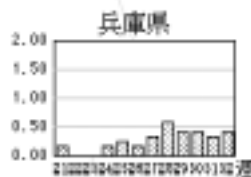
* 手足口病、ヘルパンギーナ、流行性耳下腺炎の保健所管内別発生状況および無菌性髄膜炎の他府県における発生状況は下記のグラフのとおりです。

手足口病、ヘルパンギーナ、流行性耳下腺炎の保健所管内別発生状況(平成15年第32週)

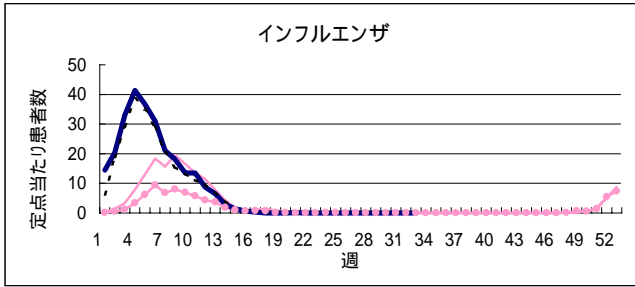


今津保健所管内における平成15年の定点当たり患者数と過去10年間の週別平均値を比較すると、平成15年はかなり多くなっています。他の保健所管内においては、大きな変化は見られません。

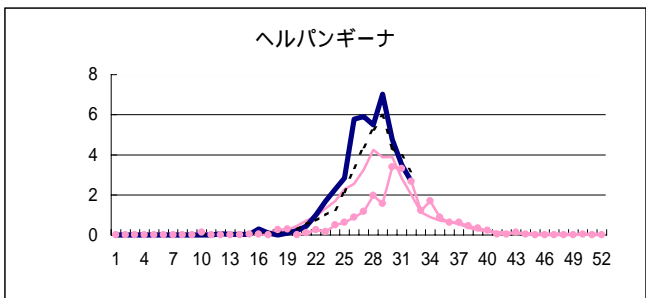
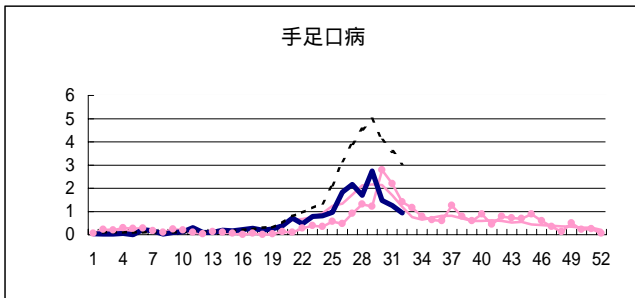
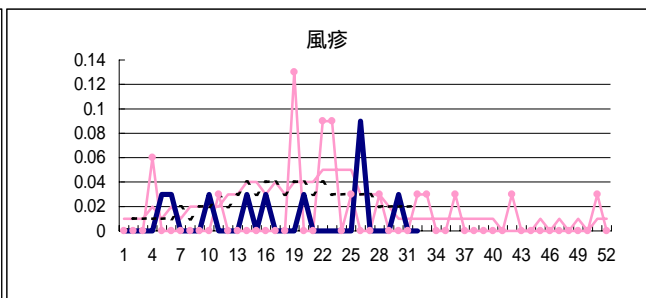
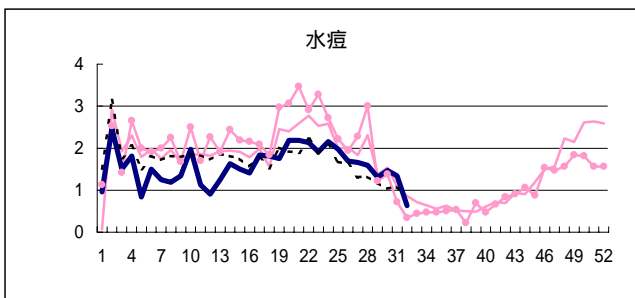
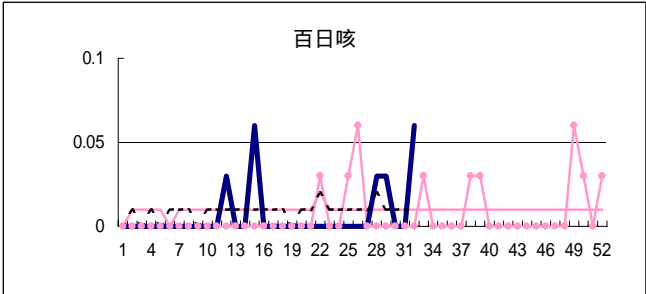
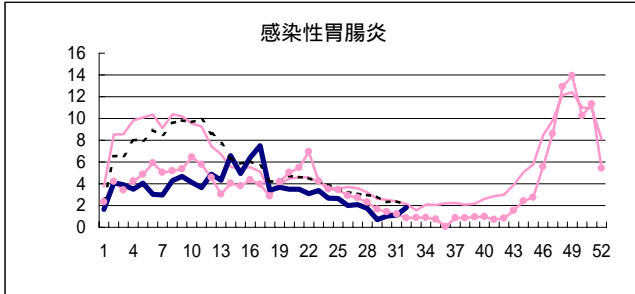
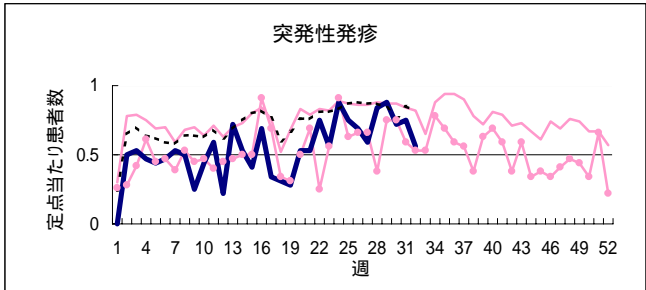
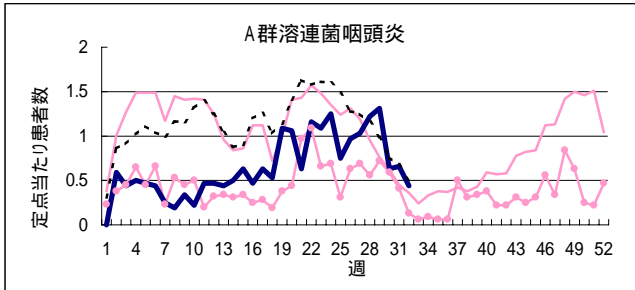
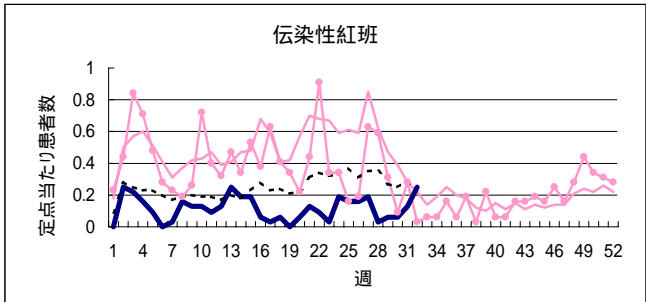
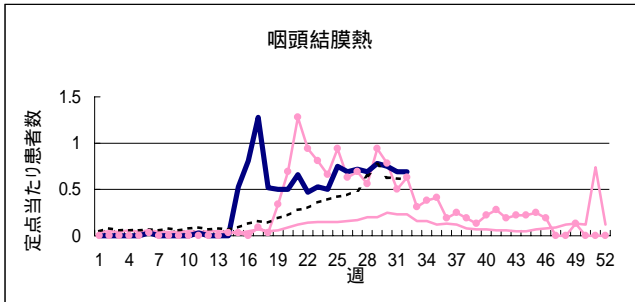
無菌性髄膜炎の他府県における発生状況(平成15年第21週~平成15年第32週)



疾病別定点当たり患者数(平成15年第1週～第32週)



H14 { 滋賀 (solid pink line)
 全国 (dashed pink line)
 H15 { 滋賀 (solid blue line)
 全国 (dotted black line)



疾病別定点当たり患者数(平成15年第1週～第32週)

H14 〔 滋賀 ●●●●●●
 全国 ————
 H15 〔 滋賀 ————
 全国 - - - - -

